

## 医師部門

受賞者： いとう 伊東 じゅんぞう 潤造（88歳）  
公益社団法人宮城県医師会 顧問



1950年に東北大学附属医学専門部を卒業、その後東北大学医学部第一外科、秋田県立中央病院外科、田沢湖国保病院副院長、仙台赤十字病院第二外科部長などを経て、1968年に伊東外科医院を開業する。地域住民の診療に従事するとともに、住民に対する健康増進の啓発に力を注いだ。

一方、宮城県医師会理事、宮城県医師会副会長など歴任したのち、2008年から2012年まで宮城県医師会の会長および日本医師会の理事、監事を務めた。特に2011年に発生した東日本大震災の際には、地域に根差したリーダーシップを大いに発揮し、宮城県医師会災害対策本部を設置、大震災で壊滅した地域医療の再建をすべく、県や関係行政と連携して献身的に復旧・復興に尽力した。宮城県の災害対策本部と連携を密にとり、医療分野における災害急性期の対応と調整を24時間体制で行った。さらに被災地の視察も頻繁に行い、被害状況の確認、医薬品の配布、全国から寄せられた義援金の公平配賦、高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の助成等を実施するなど、医療機能の回復と維持、被災者の健康管理等に貢献した。

長年にわたり医師会および医療関係団体の中心的役割を担い、医師会員や関係団体を統率するなど、地域医療の向上、保健衛生管理をはじめ介護・福祉事業の推進に尽力している功績は大きい。

推薦者： 嘉数 研二 公益社団法人宮城県医師会 会長